

地域医療連携・患者支援部

1. スタッフ（平成28年4月1日現在）

部長	森澤 雄司（准教授）（兼務）
副部長	笹沼 英紀（講師）（兼務）
副部長	小谷 妙子（看護師）（兼務）
部付	悴田 晃禎（事務）（兼務）
（病診連携室）	
事務	6名（内兼務1名）
（総合相談室）	
室長	1名
医療ソーシャルワーカー	7名
（看護支援室）	
保健師	4名（内兼務3名）
助産師	1名（兼務）
看護師	7名（内兼務5名）
（入退院支援室）	
室長	1名（兼務）
保健師	2名
看護師	4名
（ボランティア支援室）	
室長	1名（兼務）
事務	1名（兼務）

2. 地域医療連携・患者支援部の特徴

2025年問題を視野に、地域全体で連携・機能分担することで患者を支える地域包括システムの構築を踏まえ、地域の医療機関・介護福祉機関・行政機関との連携・充実強化に努めている。

地域連携を円滑に進めるために、平成21年から地域の医療機関の情報を「医療機関検索システム」として病院内のシステムに登録し、現在1000件の機関が登録されている。

また、栃木県医師会が構築したITを活用した、診療情報のデジタル形式での提供システム「とちまるネット」の運用を平成25年9月から開始している。平成28年2月現在28施設の閲覧医療機関に情報開示しており、938人の患者の同意を取得している。診療情報が共有化することでより良い医療の効率化につながっている。

更に、入退院支援センターの充実・強化に向けて、入院時のオリエンテーション、基本情報確認、持参薬確認、退院支援等の取り組みを計画している。

県医療計画の4疾病（脳卒中・心筋梗塞・5大がん・糖尿病）については、栃木県統一クリティカルパスが稼働しており、急性期や計画策定病院としての機能を発揮できるよう支援を行っている。

相談についてはがん相談、医療福祉相談、看護・介護

相談等多職種が協働で行っている。

3. 実績・クリニカルインディケーター

- (1) 診療科別紹介率一覧
- (2) 医師会別・県別紹介件数一覧
- (3) 医師会別・県別逆紹介件数一覧
- (4) 診療科別紹介件数一覧
- (5) 診療科別逆紹介件数一覧
- (6) 総合相談関係データ
- (7) 看護支援関係データ
- (8) 入退院支援関係データ
- (9) 移植再生医療センター

4. 事業計画・来年の目標等

- 1) 患者を中心に多職種が連携し、安全で質の高い医療福祉サービスを提供することを基本方針とし、医事課跡地での患者総合支援センター（仮）の開設に向けて具体的に活動していく。
 - ①患者支援窓口の一元化として入院受付、基本情報収集、各種相談窓口、病病・病診連携窓口の開始
 - ②患者サービスの一環として情報コーナーの拡充とがんサロンの定着・充実
 - ③ボランティア活動（成人）の体制整備
- 2) 地域医療連携事業の継続
 - ①4疾病地域医療連携パス導入の支援
 - ②地域医療連携研究会の開催
 - ③jichi地域連携ニュースの定期的発行
 - ④医療機関検索システムの管理
 - ⑤各拠点病院事業の継続（神経難病・がん・肝疾患・HIV・てんかん）
- 3) 安心して地域で生活できる環境づくり支援
 - ①退院支援の充実
 - ②継続的な生活支援の強化
 - ③行政・医療機関・在宅関連機関との連携
 - ④移植に関する支援

(1) 診療科別紹介率一覧(平成27年)

科名	紹介率(%)
	健康保険法
総合診療内科	73.6
循環器内科	100.2
消化器・肝臓内科	88.9
呼吸器内科	83.8
神経内科	82.6
血液科	85.0
内分泌代謝科	88.9
アレルギー・リウマチ科	93.4
腎臓内科	89.6
臨床腫瘍科	81.0
感染症科	13.8
緩和ケア科	58.3
(内科小計)	86.7
皮膚科	98.5
放射線科	95.3
精神科	58.4
子どもの心の診療科	74.2
小児科	57.7
心臓血管外科	103.0
小児・先天性心臓血管外科	112.5
呼吸器外科	94.3
消化器外科	103.9
乳腺科	86.1
腎臓外科	61.3
形成外科	86.4
美容外科	37.5
小児外科	100.3
移植外科	44.2
(外科小計)	93.3
脳神経外科	97.5
小児脳神経外科	92.4
整形外科	87.2
小児整形外科	91.5
産科	119.1
婦人科	77.5
泌尿器科	87.0
小児泌尿器科	95.6
耳鼻咽喉科	101.7
眼科	99.1
麻酔科	54.1
歯科口腔外科	62.7
リハビリテーション科	-
救命救急センター	237.6
合計	84.8

【紹介率計算式】

- A 初診患者数(ただし同日2科目は除く)
- B 紹介された患者数
- C 他の病院又は診療所に紹介した患者数(逆紹介)
- D 救急車によって搬送された患者数

(医療法)

$$\frac{B + C + D}{A + C}$$

(診療報酬上)

$$\frac{B + D}{A}$$

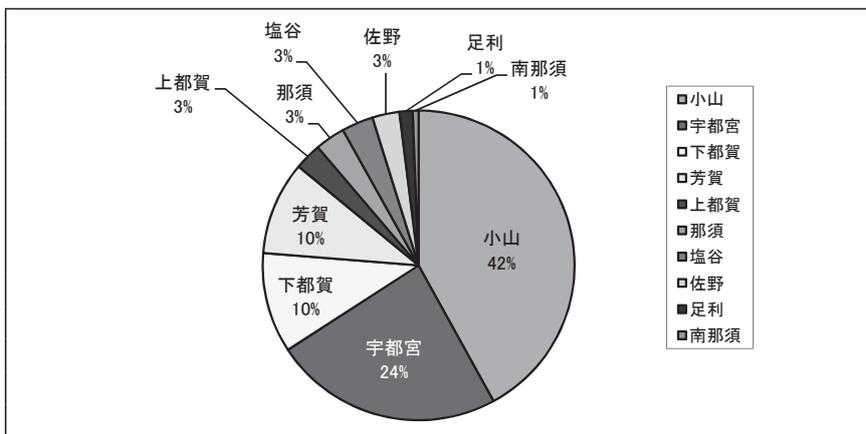
(注意)

A～Dの数値は医療法に基づくもの
医療法は自費等患者数を含む

(2) 医師会別・県別紹介件数一覧

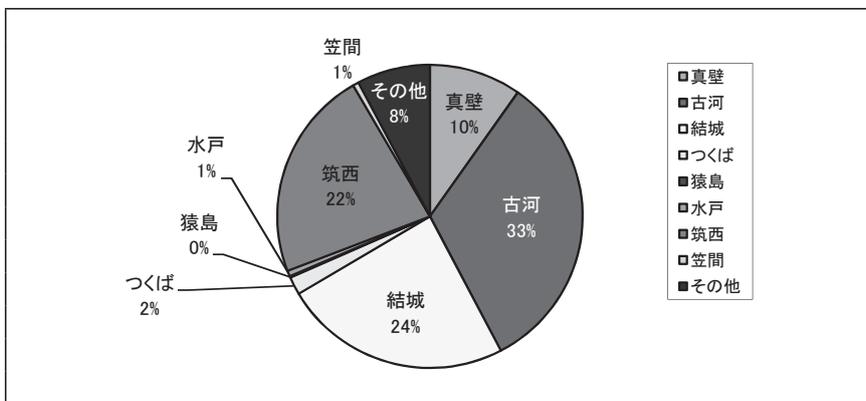
医師会別紹介件数（栃木県）

地区	累計	
	件数	%
小山	11,820	42%
宇都宮	6,687	24%
下都賀	2,941	10%
芳賀	2,743	10%
上都賀	786	3%
那須	878	3%
塩谷	921	3%
佐野	795	3%
足利	377	1%
南那須	174	1%
合計	28,122	100%



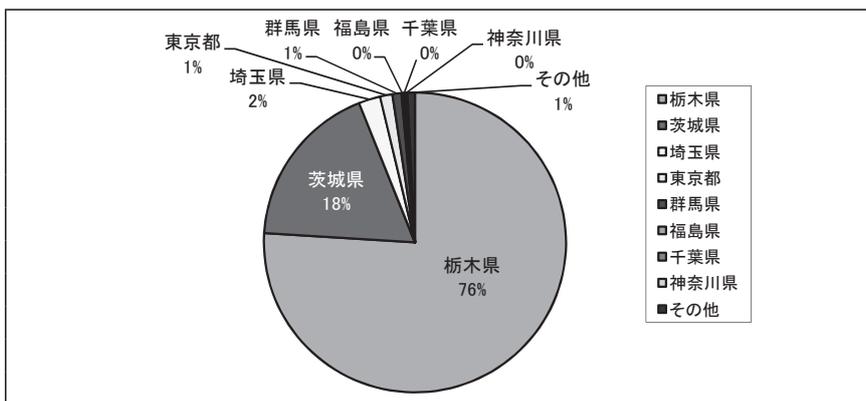
医師会別紹介件数（茨城県）

地区	累計	
	件数	%
真壁	650	10%
古河	2,169	33%
結城	1,608	24%
つくば	128	2%
猿島	9	0%
水戸	41	1%
筑西	1,496	22%
笠間	42	1%
その他	517	8%
合計	6,660	100%



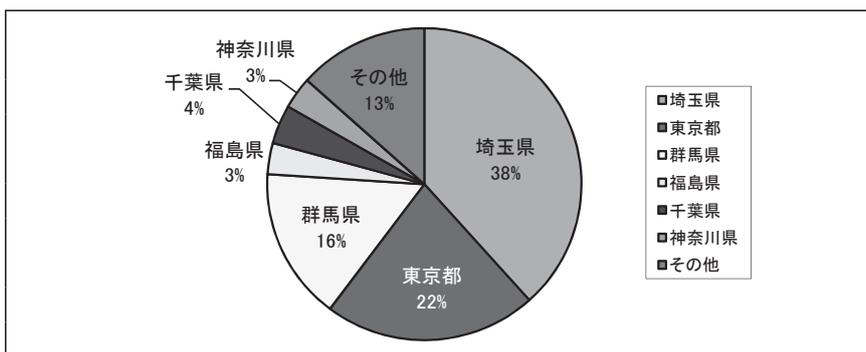
県別紹介件数

地区	累計	
	件数	%
栃木県	28,122	76%
茨城県	6,660	18%
埼玉県	856	2%
東京都	489	1%
群馬県	352	1%
福島県	72	0%
千葉県	90	0%
神奈川県	74	0%
その他	299	1%
合計	37,014	100%



県別紹介件数（他県）

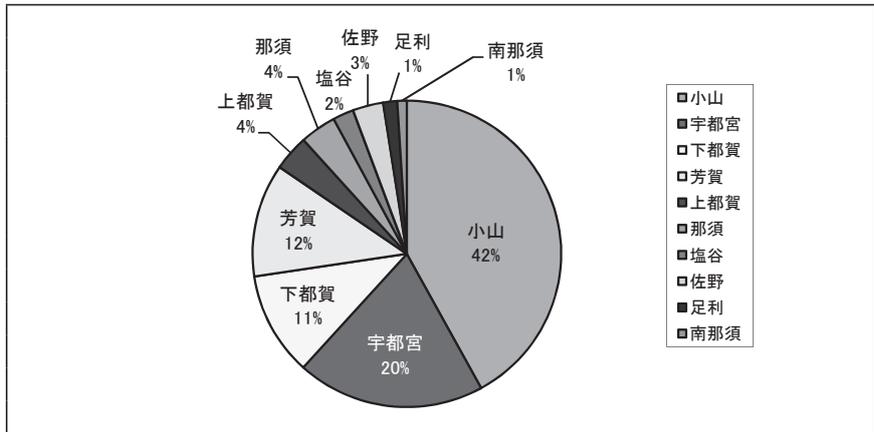
地区	累計	
	件数	%
埼玉県	856	38%
東京都	489	22%
群馬県	352	16%
福島県	72	3%
千葉県	90	4%
神奈川県	74	3%
その他	299	13%
合計	2,232	100%



(3) 医師会別・県別逆紹介件数一覧

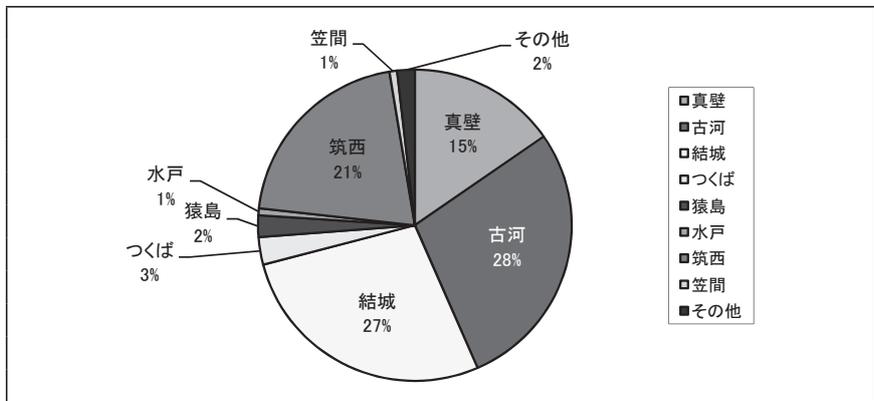
医師会別逆紹介件数（栃木県）

地区	累計	
	件数	%
小山	8,560	42%
宇都宮	4,015	20%
下都賀	2,228	11%
芳賀	2,433	12%
上都賀	767	4%
那須	775	4%
塩谷	447	2%
佐野	651	3%
足利	301	1%
南那須	204	1%
合計	20,381	100%



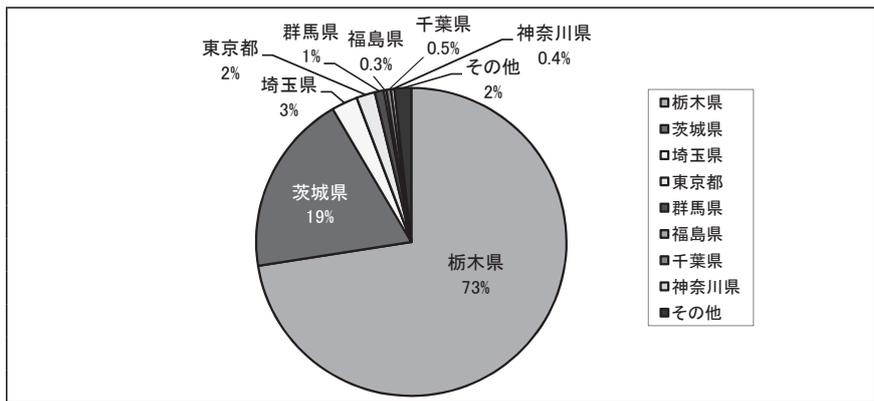
医師会別逆紹介件数（茨城県）

地区	累計	
	件数	%
真壁	822	15%
古河	1,505	28%
結城	1,472	27%
つくば	152	3%
猿島	121	2%
水戸	39	1%
筑西	1,106	21%
笠間	42	1%
その他	97	2%
合計	5,356	100%



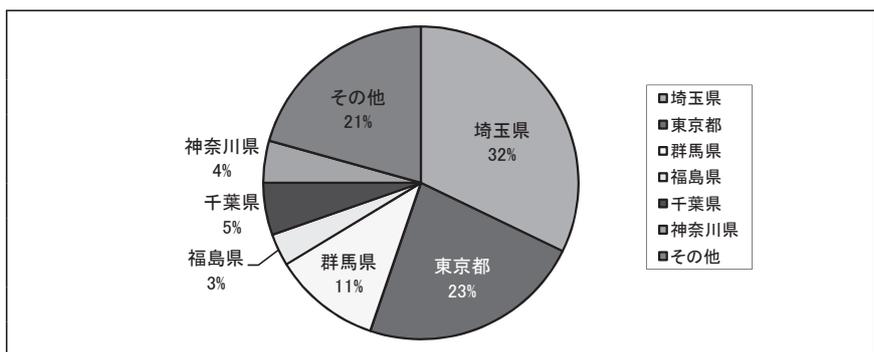
県別逆紹介件数

地区	累計	
	件数	%
栃木県	20,381	73%
茨城県	5,357	19%
埼玉県	764	3%
東京都	546	2%
群馬県	263	1%
福島県	79	0%
千葉県	128	0%
神奈川県	103	0%
その他	490	2%
合計	28,111	100%



県別逆紹介件数（他県）

地区	累計	
	件数	%
埼玉県	764	32%
東京都	546	23%
群馬県	263	11%
福島県	79	3%
千葉県	128	5%
神奈川県	103	4%
その他	490	21%
合計	2,373	100%



(4) 診療科別紹介件数一覧

診療科名	件数(件)	%
内科	11,541	31.2%
【内訳】総合診療部	1,003	2.7%
消化器・肝臓内科	2,944	8.0%
循環器内科	1,921	5.2%
神経内科	759	2.1%
呼吸器内科	1,345	3.6%
血液科	541	1.5%
アレルギー・リウマチ科	1,315	3.6%
内分泌代謝科	1,061	2.9%
腎臓内科	652	1.8%
緩和ケア科	40	0.1%
臨床腫瘍科	85	0.2%
感染症科	25	0.1%
精神科	423	1.1%
子ども医療センター	3,379	9.1%
【内訳】小児科	1,984	5.4%
子どもの心の診療科	242	0.7%
小児外科	363	1.0%
小児・先天性心臓血管外科	13	0.0%
小児脳神経外科	77	0.2%
小児整形外科	327	0.9%
小児泌尿器科	373	1.0%
外科	3,042	8.2%
【内訳】乳腺・総合外科	594	1.6%
腎臓外科	212	0.6%
消化器外科	1,046	2.8%
形成外科	349	0.9%
心臓血管外科	532	1.4%
呼吸器外科	238	0.6%
移植外科	67	0.2%
美容外科	4	0.0%
脳神経外科	740	2.0%
整形外科	1,723	4.7%
皮膚科	2,450	6.6%
泌尿器科	1,112	3.0%
眼科	2,924	7.9%
耳鼻咽喉科	2,402	6.5%
産婦人科	2,550	6.9%
【内訳】産科	988	2.7%
婦人科	1,562	4.2%
放射線科	975	2.6%
麻酔科	49	0.1%
リハビリテーション科	1	0.0%
歯科口腔外科	3,111	8.4%
救命救急センター	442	1.2%
合計	37,014	100.0%

(5) 診療科別逆紹介件数一覧

診療科名	件数(件)	%
内科	12,776	45.4%
【内訳】総合診療部	648	2.3%
消化器・肝臓内科	2,317	8.2%
循環器内科	3,432	12.2%
神経内科	1,095	3.9%
呼吸器内科	1,028	3.7%
血液科	613	2.2%
アレルギー・リウマチ科	1,574	5.6%
内分泌代謝科	1,095	3.9%
腎臓内科	974	3.5%
緩和ケア科	110	0.4%
臨床腫瘍科	218	0.8%
感染症科	45	0.2%
精神科	506	1.8%
子ども医療センター	1,481	5.3%
【内訳】小児科	1,188	4.2%
子どもの心の診療科	35	0.1%
小児外科	67	0.2%
小児・先天性心臓血管外科	54	0.2%
小児脳神経外科	29	0.1%
小児整形外科	74	0.3%
小児泌尿器科	34	0.1%
外科	3,328	11.8%
【内訳】乳腺・総合外科	576	2.0%
腎臓外科	242	0.9%
消化器外科	1,260	4.5%
形成外科	177	0.6%
心臓血管外科	809	2.9%
呼吸器外科	187	0.7%
移植外科	77	0.3%
美容外科	0	0.0%
脳神経外科	603	2.1%
整形外科	1,356	4.8%
皮膚科	926	3.3%
泌尿器科	578	2.1%
眼科	1,214	4.3%
耳鼻咽喉科	935	3.3%
産婦人科	1,198	4.3%
【内訳】産科	206	0.7%
婦人科	992	3.5%
放射線科	55	0.2%
麻酔科	50	0.2%
リハビリテーション科	0	0.0%
歯科口腔外科	1,974	7.0%
救命救急センター	758	2.7%
合計	28,111	100.0%

(6) 総合相談室

【医療ソーシャルワーカー (MSW)】

平成27年度の総合相談室は、目標として掲げた「安心して療養生活に専念できる相談体制の構築」を意識しながら、①療養中の心理・社会的支援 ②社会保障制度活用の支援 ③医療・保健・福祉機関との連携 ④がん相談窓口の円滑な運営 ⑤患者サポート体制の円滑な運営等の充実に取り組んだ。

特徴的なことは、次のとおりである。

- ①患者相談室は、外来リニューアル工事に伴い、採尿採血検査向かいに移転した (10月13日)。
- ②医療安全対策部に紐付けられた虐待対応委員会は、組織化 (小児・成人) され、多職種協働による虐待対応マニュアル (小児・高齢者・障がい者虐待、DV) を整備した。
- ③多職種協働 (看護職とMSW) による患者相談窓口が定着した。
- ④多職種協働によるがん患者と家族のサロンが定着した (月1回、第2木曜)。
- ⑤MSWのしおり第2号 (H26年度活動報告書) を発行した。
- ⑥グループ診療病院である芳賀赤十字病院 (地域がん診療病院) との相談体制の連携を強化した。

1) 相談ケース数

図-1は相談ケース数である (実10,978件/延28,808件)。

ここでは「実件数 (新規・再規・継続ケース数)」と「延件数 (MSWの1行為を1件数としてカウントする。東京都福祉保健局・東京都医療社会事業協会による統一されたカウント方法)」の2種類の数を用いている。

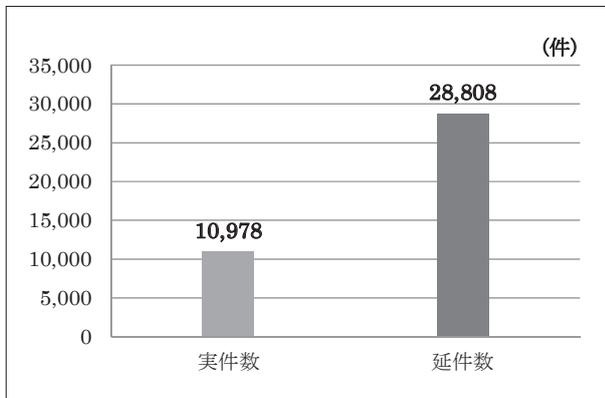


図-1 相談ケース数

2) 相談ケース数内訳

図-2は相談ケース数の内訳である。実件数と延件数を「一般相談 (附属病院)」・「がん相談 (地域がん診療拠点病院)」・「子ども相談 (とちぎ子ども医療センター)」に3分類している。

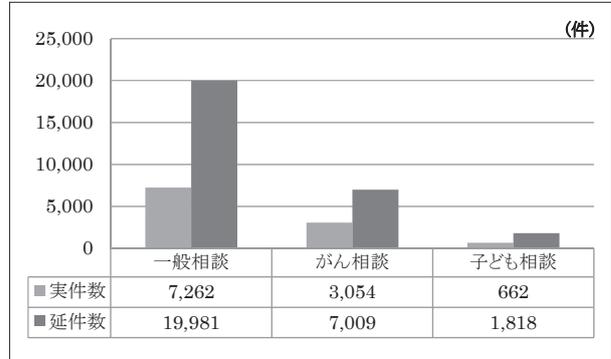


図-2 相談ケース数内訳

3) 相談内容別件数

図-3は相談内容別の件数 (34,344件) の比率を、外来と入院別 (23% : 77%) に示した。

図-4は相談内容別の件数 (34,344件) の内訳を示した。1回の相談で複数の相談を受けた場合は複数カウントしている。

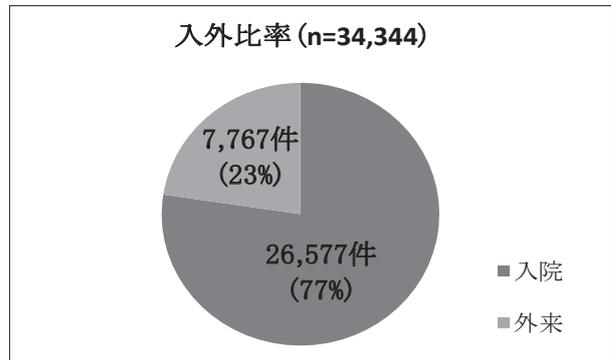


図-3 相談内容入外比率

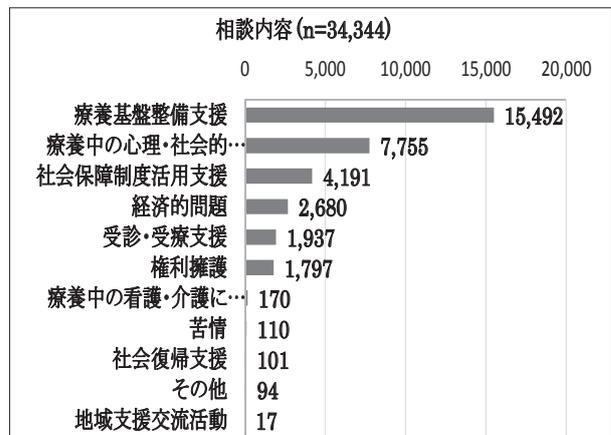


図-4 相談内容別件数

(相談内容)

退院支援を含めた「療養基盤整備支援」「療養中の心理・社会的支援」が全体の約7割を占める。特に「療養基盤整備支援」には、療養の場の方向性の検討段階から介入し、在宅療養を整える支援や転院に伴う支援。「療養中の心理・社会的支援」には、外来・入院患者が疾病をもって生活することへの不安や生活のしづらさに対しての環境整備（医療・看護・介護体制）、入院先の紹介等が含まれている。

(がんと非がん)

医療費に関する相談について、今までは「利用できる制度はないか」という相談が多かったが、最近では高額な医療費に伴い治療を継続するか否かといった相談が増えている。入院期間の短縮、通院での治療が主流になりつつあることもあり、高額療養費制度の利用条件に該当せず、毎月数万円の自己負担を支払わなければならない深刻なケースも増えている。まず、院内各部門との連携強化を意識しながら、適切な相談機関に確実に繋がるよう複合的な支援に努めている。

(その他)

治療や告知のこと、将来の不安、医療者との関係等の相談も多く、その内容も多様化・複雑化してきている。他職種との調整が必要な場合は早期に連携を図り、不安を軽減できるよう支援している。

(子どもに関連する産科・小児科)

相談内容は、飛び込み出産、若年出産・未婚での出産、精神疾患を伴っての出産、虐待、医療依存度の高い患児の退院支援が目立っている。特に、産科関連については、母親の養育能力の問題のみならず、経済的困窮により自宅ライフラインが止まってしまうようなケースや、出産を迎えるうえで入院時の同胞の養育サポートが得られない妊婦に対する支援が増加した。

このように、チーム医療の必要性が高いことから、情報の共有等を含め内外機関との連絡調整やカンファレンスの実施比率が高くなっている。

4) 診療科別件数

図-5は診療科別の相談件数である(35,829件)。救命センター・脳神経外科・神経内科・総合診療内科・小児科が全体の約4割を占めている。また、全体の約3割弱が、がんに関連する診療科である。



図-5 診療科別相談件数

5) まとめ

生活上の複合的な問題を抱えた患者とその家族を早期に発見し、適切な時期に介入をしていくこともMSWの重要な役割の1つである。その実践として、救命センターの入院患者を対象に、ソーシャルハイリスクシートの活用（医師・看護職の記載）や各病棟のトリアージカンファレンスへの参加に取り組んでいる。最近では、外来からの介入も多く、治療を受ける環境を阻害しやすい要因（意思決定能力の機能低下・保険未加入等）を外来時に発見し、多職種協働で対応策を講じることにより円滑な療養支援に結びついている。しかし、重複疾病・障害や精神症状を併せ持つ患者に対する療養中の支援などは、数・時間だけでは反映され難い専門的な介入が必要になっていると言える。

(7) 看護支援室

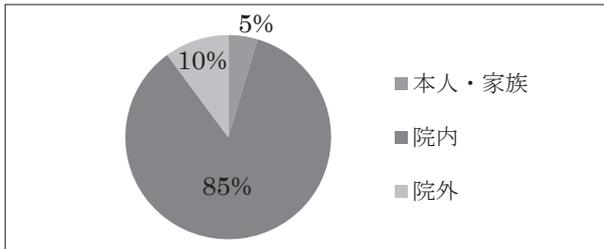
《附属病院・とちぎ子ども医療センター》

◆在宅療養調整 新規患者数 (2015年)

	入院	外来
患者数	396人	98人

在宅療養調整患者は、新たに訪問診療、訪問看護、相談支援専門員、居宅介護支援事業所へ、当院から直接依頼をした患者とする。日常生活用具・福祉用具等の手配や既に地域の支援体制が構築されている患者を除く。

◆新規・再規患者の依頼ルート



院内スタッフからの依頼が多い。

◆延べ相談件数

	2012年	2013年	2014年	2015年
相談件数	15,356件	16,157件	19,678件	25,999件

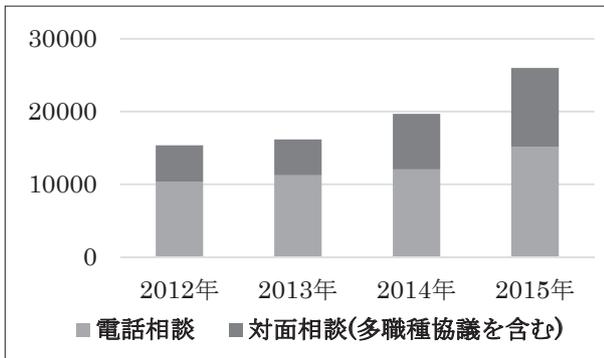
延べ相談件数は年々増加傾向である。

◆相談者内訳

		2012年	2013年	2014年	2015年
内訳(人)	新規・再規*	1,064	1,254	2,237	2,656
	継続	6,634	6,992	18,952	23,338
	不明			54	5

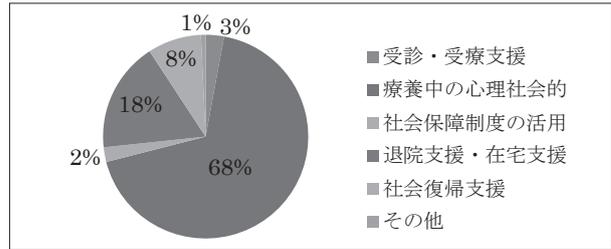
*再規とは、最終対応日から3ヵ月以上経過した場合。

◆相談方法



対面相談の割合が年々、増加傾向にある。各病棟で行われているトリアージカンファレンスや退院支援に対する意識の向上が要因の一つと考える。

◆相談方法 (※重複回答あり)



相談内容内訳の9割は、院内および地域の支援者との連絡調整であり、業務の大部分を占めている。

◆2015年のトピックス

- 1) 総合相談室と協働し、相談窓口における看護相談を行った。また、専門看護師によるがん相談を開始した。相談件数は前年度より約1.3倍増加している。
- 2) 早期退院を目指し、各病棟でトリアージカンファレンスを開催した。また、退院が困難と予測される患者に対し、退院支援計画書を作成し、その計画に沿って退院支援・調整を実施した。2014年はモデル病棟のみの実施であったが、2015年は約3倍の計画書作成に至った。

◆退院支援計画書作成確認件数

	2014年 (モデル病棟)	2015年 (全病棟)
確認件数	1,058件	3,445件

◆退院支援計画書 確認件数内訳

2015年 確認件数内訳		
修正なし	修正済み	その他
1,443件	1,181件	821件

※その他：退院支援計画書の未交付、中止、進捗不明、修正依頼後の未修正とする。

- 3) 在宅支援ワーキングでは、在宅療養物品、呼吸器等のレンタルにおける契約変更について院内統一を図り、緊急時における緊急搬送のための情報票の運用について決定した。またその下部組織である成人・小児在宅グループでは、月一回定例会を開催し、在宅管理料内の医療材料の見直しや患者指導パンフレットの見直し・作成などを実施している。

◆拠点病院としての業務

1) 神経難病医療ネットワーク推進事業

神経難病医療ネットワーク推進事業では、患者・家族に対して通常の療養相談に応じ、一時入院支援事業(レスパイト入院)の調整を行っている。年1回の医療従事者向けの研修会を開催している。

2) 肝炎対策事業

肝炎対策事業では、肝疾患相談を中心に行っており、2015年は70件の相談があった。県内外問わず相談を受け付けており、電話相談が主である。

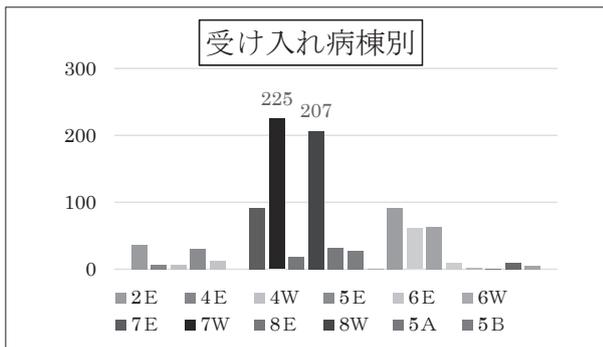
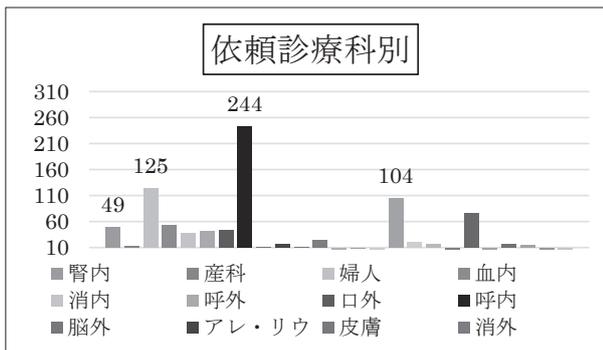
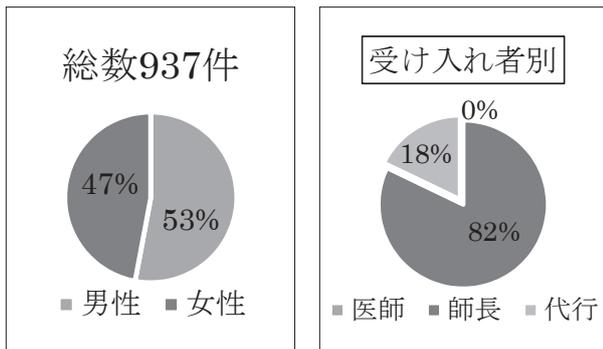
3) がん地域医療連携パス

がん対策推進基本計画では、5大がん（胃・大腸・肝・肺・乳腺）のがん診療地域連携クリティカルパスの運用を2011年7月から開始している。2015年新規導入は4件である。現在、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に基づき「緩和ケア地域連携パス」について県主導で検討が行われている中で、当院での運用方法について検討中である。

(8) 入退院支援室

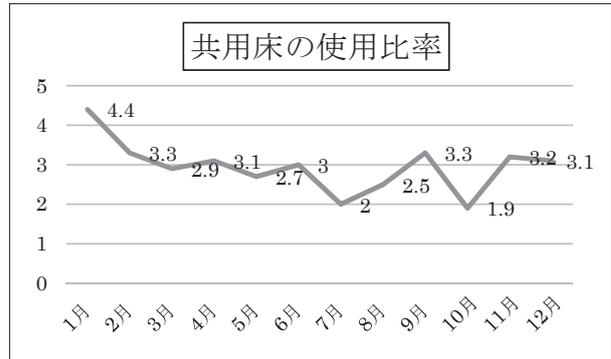
1. ベッドコントロール状況

実働 241日
 総数 937件
 男性 496 平均年齢 63.1歳
 女性 441 平均年齢 57.5歳



2. 共用床の使用状況

精神、小児を除く成人病棟における、在院患者総数に対する該当診療科以外の延べ患者数比率 (%)



3. 共用床を用いた診療体制について

消化器内科	4件	7W-4件
呼吸器内科	3件	5E-3件
循環器内科	1件	8E-1件
アレ・リウマチ科	2件	7W-3件

3月以降の実施件数はなし

(9) 移植再生医療センター

- 肝移植 -

2015年 生体肝移植 12件
 脳死肝移植 0件
 脳死肝移植希望登録 6件

- 腎移植 -

2015年 生体腎移植 31件
 献腎移植 1件
 献腎移植説明 26件
 日本臓器移植ネットワーク登録 34件
 角膜提供 5件

2015年 7月現在 献腎 登録者 178名